

文 教 科 学 委 員 会

委員一覧 (20名)

委員長	二之湯 智 (自民)	鈴木 寛 (民主)	熊谷 大 (自民)
理事	神本 美恵子 (民主)	谷 亮子 (民主)	義家 弘介 (自民)
理事	藤谷 光信 (民主)	林 久美子 (民主)	草川 昭三 (公明)
理事	橋本 聖子 (自民)	水岡 俊一 (民主)	西田 実仁 (公明)
理事	水落 敏栄 (自民)	横峯 良郎 (民主)	江口 克彦 (みん)
	大島 九州男 (民主)	石井 浩郎 (自民)	自見 庄三郎 (国民)
	斎藤 嘉隆 (民主)	上野 通子 (自民)	(22.10.19 現在)

(1) 審議概観

第176回国会において本委員会に付託された法律案は、内閣提出1件であり、継続審査とした。

また、本委員会付託の請願10種類27件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

展覧会における美術品損害の補償に関する法律案は、委員会において、継続審査要求書を提出することを決定した。

〔国政調査〕

第175回国会閉会後の9月7日、高校実質無償化の実施状況等について質疑を行った。

10月19日、高木文部科学大臣から、就

任に当たっての見解を聴取した。

10月21日、幼保一体化に向けての検討状況、新・教職員定数改善計画案、教育費の負担軽減策、道徳教育の必要性と心のノート活用、高校授業料無償化における朝鮮学校の指定、高校生修学支援基金の支出状況、子ども手当のバウチャー化等について質疑を行った。

11月11日、教職員定数の改善による少人数学級の実現、幼保一体化に向けての検討状況、プロ野球界と学生野球界との断絶解消、朝鮮学校と現行教育基本法との関係、特別支援学校児童生徒の急増に伴う対応、日本人留学生減少の原因と対策等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○平成22年9月7日(火) (第175回国会閉会後第1回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 高校実質無償化の実施状況等に関する件について川端文部科学大臣、鈴木文部科学副大臣、政府参考人及び会計検査院当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

大島九州男君(民主)、谷岡郁子君(民主)、義家弘介君(自民)、松あきら君(公明)、江口克彦君(みん)

○平成22年10月19日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査を行うことを決定した。

○平成22年10月21日(木) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 幼保一体化に向けての検討状況に関する件、新・教職員定数改善計画案に関する件、教育費の負担軽減策に関する件、道徳教育の必要性と心のノート活用に関する件、高校授業料無償化における朝鮮学校の指定に関する件、高校生修学支援基金の支出状況に関する件、子ども手当のバウチャー化に関する件等について高木文部科学大臣、鈴木文部科学副大臣、笹木文部科学副大臣、東内閣府副大臣、藤村厚生労働副大臣、林文部科学大臣政務官、笠文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

藤谷光信君(民主)、斎藤嘉隆君(民主)、大島九州男君(民主)、水落敏栄君(自民)、義家弘介君(自民)、西田実仁君(公明)、江口克彦君(みんな)

○平成22年11月11日(木) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 教職員定数の改善による少人数学級の実現に関する件、幼保一体化に向けての検討状況に関する件、プロ野球界と学生野球界との断絶解消に関する件、朝鮮学校と現行教育基本法との関係に関する件、特別支援学校児童生徒の急増に伴う対応に関する件、日本人留学生減少の原因と対策に関する件等について高木文部科学大臣、平野内閣府副大臣、鈴木文部科学副大臣、吉田財務大臣政務官、林文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

神本美恵子君(民主)、大島九州男君(民主)、石井浩郎君(自民)、義家弘介君(自民)、草川昭三君(公明)、松田公太君(みんな)

○平成22年12月3日(金) (第4回)

- 請願第42号外26件を審査した。
- 展覧会における美術品損害の補償に関する法律案(閣法第14号)(衆議院送付)の継続審査要求書を提出することを決定した。

- 教育、文化、スポーツ、学術及び科学技術に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。